

バーコードプリンタ 取扱説明書



KSW-DT2/DT4
KSW-BP2x/BP4x



■ご使用の前に必ずお読みください■

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に必ず本書をよくお読みください。読み終わった後は大切に保管し、必要な時に読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず、当社は一切責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理を行なわないで下さい。
- お客様の誤った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- データなどは基本的に一過性のものであり、長期的、永久的な記憶、保存はできません。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の損害および損失利益などについては、当社は一切の責任を負えません。予めご了承ください。
- 本書の内容についての記載漏れや誤り、不明な点などございましたらご連絡ください。

国外に持ち出す場合の注意について

この製品は、日本国内においてご使用いただくことを前提に製造、販売しております。
したがって、国外に持ち出してご使用になる場合の保守サービスは、お引き受けできません。
また、国外の法規制による処罰、事故その他の不具合について、一切の責任を負いかねます
のでご了承ください。

安全上のご注意

- 必ずお守りください -

- お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように説明しています。



警告

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

警告

以下の事項は本機が破損もしくは故障したり、加熱、発煙する恐れがあり、火災、感電の原因となりますので絶対に行なわないで下さい。破損、故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないで下さい。
- 通気性の悪い場所への設置や本機の開口部をふさぐような使用はおやめください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所、空気が塩分やガスを含んでいるような場所への設置はおやめください。
- 指定された電源電圧、周波数以外使用しないで下さい。
- 電源コード、インターフェースケーブルの抜き差しをケーブルを持って行ったり、ケーブルに重さがかかる状態で本機を引っ張ったり、持ち運んだりしないでください。
- 本機内にクリップ、虫ピン等の異物を落としたり、入れないようにしてください。
- 電源コードのタコ足配線をしないでください。
- 本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないで下さい。水などをこぼした場合は、電源を切り電源コードをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
- 本機の分解、改造を行なわないでください。

一般注意事項

本機を快適にご使用いただくために、守るべき注意事項です。必ずお読みください。

注意

- プリンタ内部にクリップ、ピンのような物を落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 本機の移動、持ち運びには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた場合には、完全にプリンタカバーを開けてから作業をしてください。プリンタカバーが閉じて身体などを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた状態の時にはプリンタカバーに注意してください。エッジなど身体を傷つける恐れがあります。
- 印字中にプリンタカバーを開けないで下さい。
- 本体ケース表面を清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所での使用は避けてください。
- 本機に液体をこぼしたり、薬剤を吹きかけたりしないでください。
- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- コントロールパネル部の操作は丁寧に行なってください。乱雑な操作は故障、誤動作の原因になります。また、ペン先などの鋭利なものでの操作は絶対に行なわないでください。
- 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障の時は本機の分解を行わず、必ずサービスマンにお任せください。

設置上の注意事項



- 火気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具のそば等、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所に設置しないでください。
- 空気が、塩分やガスを含んでいるような場所には設置しないでください。
- プリンタは水平で安定した卓上で、通気性の良い所に設置してください。(開口部は壁等で絶対に塞がないように注意してください)
- 本機の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりしますと受信障害の原因となることがありますので、注意してください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用をしないでください。
- 電源コード、ACアダプタは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードまたはインターフェイスクーブルを持って本体を引っ張ったり、持ち運びしないでください。
- 電源コードのタコ足配線は避けてください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行なってください。
- コネクタの接続は確実に行ってください。特に極性が逆に接続されると、内部の素子が破壊されることがあります。
- インターフェイスクーブルの取り付けや取り外しは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 信号線を長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。やむをえず配線する時は各信号毎にシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントから電源プラグを抜き、容易に電源を遮断できるように設置してください。
- コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと、静電気でケガをする恐れがあります。
- バッテリーを交換する際は推奨するバッテリーと交換してください。正しく行なわなかった場合、故障の原因となる可能性があります。

本書の内容は断りなく変更する場合があります。

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1. バーコードプリンタ本体 | 5 |
| 1-1. 梱包内容の確認 | 5 |
| 1-2. 仕様 | 6 |
| 1-3. 通信ポート仕様 | 8 |
| 1-4. プリンタ各部の名称 | 9 |
| 2. プリンタの設定 | 11 |
| 2-1. ラベル装着方法 | 11 |
| 2-2. ラベルホルダーの使用法 | 13 |
| 2-3. コンピューターとの接続 | 14 |
| 2-4. プリンタドライバーのインストール | 15 |
| 3. オプション | 17 |
| 3-1. ピラーユニットの取り付け方法 | 17 |
| 3-2. カッターユニットの取り付け方法 | 21 |
| 4. LEDの点灯表示 | 24 |
| 4-1. LED の説明 | 24 |
| 4-2. FEED キー | 25 |
| 4-3. 自動テスト | 26 |
| 4-4. ラベル自動チェック | 27 |
| 4-5. ダンプモード | 27 |
| 4-6. 透過センサー on/off | 28 |
| 4-7. 操作エラーの表示 | 29 |
| 4-5. IPアドレスの設定 (KSW-BP2x/BP4x) | 29 |
| IPアドレスの変更方法（ブラウザ） | 29 |
| IPアドレス変更方法（プリンタコマンド） | 30 |
| 5. メンテナンスと調整 | 32 |
| 5-1. サーマルヘッドの交換方法 | 32 |
| 5-2. サーマルヘッドのクリーニング | 34 |
| 5-3. カッターの紙詰り除去 | 34 |
| 5-4. トラブルシューティング | 36 |

1. バーコードプリンタ本体

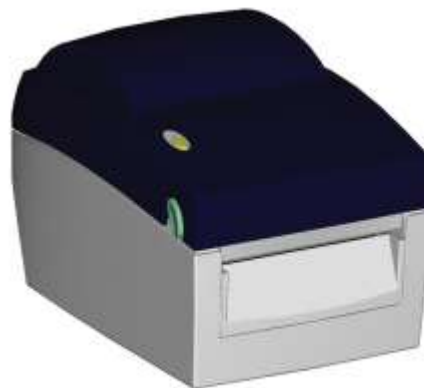
1-1. 梱包内容の確認

プリンタ本体と下記の付属品が揃っていることを確認してください。

- ◆ バーコードプリンタ本体
- ◆ 電源コード
- ◆ ACアダプター
- ◆ USB ケーブル
- ◆ テスト用ラベル
- ◆ Quick Start ガイド
- ◆ CD (ユーザマニュアル、プリンタドライバー その他)



KSW-DT2



KSW-DT4



KSW-BP2x



KSW-BP4x

1-2. 仕様

| 型 式 | KSW-DT2 | KSW-DT4 |
|-------------|---|--|
| ドット密度 | 203 dpi (8 dot/mm) | |
| 印字方式 | 感熱方式 (DT) | |
| CPU | 32 Bit | |
| メモリー | 4MB Flash, 8MB SDRAM | 4MB Flash, 8MB SDRAM (with RTC) |
| 印字速度 | 50.5mm~ 101.6mm (2 IPS ~ 4 IPS) | |
| 印字長さ | Max.1727mm (68") Min.12.7mm(0.5") | |
| 印字幅 | Max.54 mm (2.12") | Max.108mm (4.25") |
| センサータイプ | 中央にムーブセンサー搭載。センサー：反射型/透過型 自動計測機能 | |
| センサーの能力 | ラベルの紙間、黒マーク検出 連続氏の長さの自動計測及び、プログラムコマンドでの計測機能を備える | |
| 用紙形状 | ロール外形：Max. 127mm (5") ロール軸芯：25.4mm、38.1mm 用紙幅：15mm (0.6") ~ 60mm (2.36") 用紙厚：0.06~0.20mm | ロール外形：Max. 127mm (5") ロール軸芯：25.4mm、38.1mm 用紙幅：25mm (1") ~ 118mm (4.65") 用紙厚：0.06~0.20mm |
| 使用言語 | EZPL (Firmware のダウンロードが可能) | |
| ソフトウェア | 汎用ソフト: EASYLABEL ドライバー: Microsoft Windows NT 4.0, 2000 and XP, Vista, 7 | |
| 組み込みフォント | 11種類の英数字を内蔵し(OCR A & B含む)、これらは水平垂直方向に8倍まで拡大可能。全てのビットマップフォントは縦横8方向に回転が可能。 | |
| フォントのダウンロード | Windows bit mappedは縦横8方向に回転。True Typeフォント (Ver. 2. XX) と漢字は4方向に回転が可能 | |
| イメージ処理 | モノクロBMPとPCXに対応し、アプリケーションによりICO, WMF, JPG, EMFに対応しイメージを拡大縮小、回転、反転及び、白黒変換を自由に行うことが可能 | |
| バーコード | Code 39, Code 93, Code 128 (subset A,B,C), UCC 128, UCC/EAN-128 K-Mart, UCC/EAN-128, UPC A / E (add on 2 & 5), I 2 of 5, I 2 of 5 with Shipping Bearer Bars, EAN 8 / 13 (add on 2 & 5), Codebar, Post NET, EAN 128, DUN 14, MaxiCode, HIBC, Plessey, Random weight, Telepen, FIM, China Postal Code, RPS 128, PDF417 & Datamatrix code, QR code | |
| インターフェイス | Serial port: RS-232 (Baud rate : 4800 ~ 115200 , XON/XOFF , DSR/CTS) USB port: V2.0 | |
| コントロールパネル | 1個で3色のLED: Power (赤, オレンジ, 緑) Function Key: FEED | |
| 電 源 | 自動選択 100/240VAC, 50/60 Hz | |
| 作業環境 | 操作温度： 5°C ~ 40°C 保存温度： -20°C ~ 50°C | |
| 安全基準 | CE, FCC Class A, CCC, CB, cUL, BSMI | |
| 湿 度 | 操作湿度：30-85%, 結露無き事。 保存湿度：10-90%, 結露無き事。 | |
| プリンタ寸法 | 長さ：218 mm (8.58") 高さ：172 mm (6.77") 幅：100 mm (3.94") 重量：1.2 Kg | 長さ：218 mm (8.58") 高さ：166 mm (6.53") 幅：168 mm (6.61") 重量：1.5 Kg |
| オプション | カッター装置 剥離装置 RTC LANボード 汎用ソフトEASYLABEL 外部ロールホルダー (KSW-LH120) ラベル巻取り機 (KSW-T10) | カッター装置 剥離装置 LANボード 汎用ソフトEASYLABEL 外部ロールホルダー (KSW-LH120) ラベル巻取り機 (KSW-T10) |

上記仕様は予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

| 型 式 | KSW-BP2x | KSW-BP4x |
|-------------|---|--|
| ドット密度 | 203 dpi (8 dot/mm) | |
| 印字方式 | 感熱方式 (DT) | |
| CPU | 32 Bit RISC CPU | |
| メモリー | 4MB Flash, 16MB SDRAM | 8MB Flash, 16MB SDRAM (with RTC) |
| 印字速度 | 50.5mm~ 177mm/S (2 IPS ~ 7 IPS) | |
| 印字長さ | Max.1727mm (68") Min.4mm(0.16") | |
| 印字幅 | Max.54 mm (2.12") | Max.108mm (4.25") |
| センサータイプ | 中央にムーブセンサー搭載。センサー：反射型/透過型 自動計測機能 | |
| センサーの能力 | ラベルの紙間、黒マーク検出 連続氏の長さの自動計測及び、プログラムコマンドでの計測機能を備える | |
| 用紙形状 | ロール外形：Max. 127mm (5") ロール軸芯：25.4mm、38.1mm 用紙幅：15mm (0.6") ~ 60mm (2.36") 用紙厚：0.06~0.20mm | ロール外形：Max. 127mm (5") ロール軸芯：25.4mm、38.1mm 用紙幅：25.4mm (1") ~ 118mm (4.65") 用紙厚：0.06~0.20mm |
| 使用言語 | EZPL,GEPL,GXPL,自動切換 | |
| ソフトウェア | 汎用ソフト: EASYLABEL ドライバー: Windows 7,8,10 | |
| 組み込みフォント | 11種類の英数字を内蔵し(OCR A & B含む)、これらは水平垂直方向に8倍まで拡大可能。全てのビットマップフォントは縦横8方向に回転が可能。 | |
| フォントのダウンロード | Windows bit mappedは縦横8方向に回転。True Typeフォント (Ver. 2.XX) と漢字は4方向に回転が可能 | |
| イメージ処理 | モノクロBMPとPCXに対応し、アプリケーションによりICO, WMF, JPG, EMFに対応しイメージを拡大縮小、回転、反転及び、白黒変換を自由に行うことが可能 | |
| バーコード | 1-D Bar codes: Code 39, Code 93, EAN 8 /13 (add on 2 & 5), UPC A/E (add on 2 & 5), I 2 of 5 & I 2 of 5 with Shipping Bearer Bars, Codabar, Code 128 (subset A, B, C), EAN 128, RPS 128, UCC 128, UCC/EAN-128 K-Mart, Random Weight, Post NET, ITF 14, China Postal Code, HIBC, MSI, Plessey, Telepen, FIM, GS1 DataBar 2-D Bar codes: PDF417, Datamatrix code, MaxiCode, QR code, Micro PDF417, Micro QR code and Aztec code | |
| インターフェイス | USB Device (B-Type) Serial port: RS-232 (DB-9) IEEE 802.3 10/100Base-Tx Ethernet port (RJ-45) | |
| コントロールパネル | LED: Power (赤,オレンジ、緑) Function Key: FEED | |
| 電 源 | 自動選択 100/240VAC, 50/60 Hz | |
| 作業環境 | 操作温度：5°C ~ 40°C 保存温度：-20°C ~ 50°C | |
| 安全基準 | CE, FCC Class A, CCC, CB, cUL, BSMI | |
| 湿 度 | 操作湿度：30-85%, 結露無き事。 保存湿度：10-90%, 結露無き事。 | |
| プリンタ寸法 | 長さ：218 mm (8.58") 高さ：172 mm (6.77") 幅：100 mm (3.94") 重量：1.2 Kg | 長さ：218 mm (8.58") 高さ：166 mm (6.53") 幅：168 mm (6.61") 重量：1.5 Kg |
| オプション | カッター装置 剥離装置 汎用ソフトEASYLABEL 外部ロールホルダー (KSW-LH120) ラベル巻取り機 (KSW-T10) | カッター装置 剥離装置 汎用ソフトEASYLABEL 外部ロールホルダー (KSW-LH120) ラベル巻取り機 (KSW-T10) |

上記仕様は予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1-3. 通信ポート仕様

シリアルインターフェイス

シリアルポート : 9600 baud rate, no parity, 8 data bits, 1 stop bit, XON/XOFF protocol and
の初期設定 : RTS/CTS。

RS232 HOUSING (9-pin to 9-pin)

| DB9 SOCKET | | DB9 PLUG |
|------------|---|---------------|
| --- | 1 | +5V,max 500mA |
| RXD | 2 | TXD |
| TXD | 3 | RXD |
| DTR | 4 | N/C |
| GND | 5 | GND |
| DSR | 6 | RTS |
| RTS | 7 | CTS |
| CTS | 8 | RTS |
| RI | 9 | N/C |
| PC | | PRINTER |

【注意】 serial portの合計アウットレット電力は500mAを超える事は出来ません。 .

USB インターフェイス

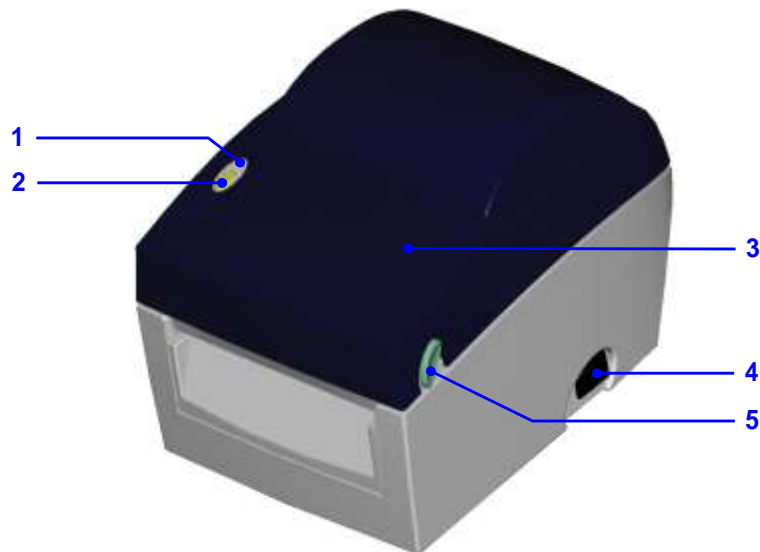
コネクタ-Type : Type B

| PIN NO. | 1 | 2 | 3 | 4 |
|----------|------|----|----|-----|
| FUNCTION | VBUS | D- | D+ | GND |

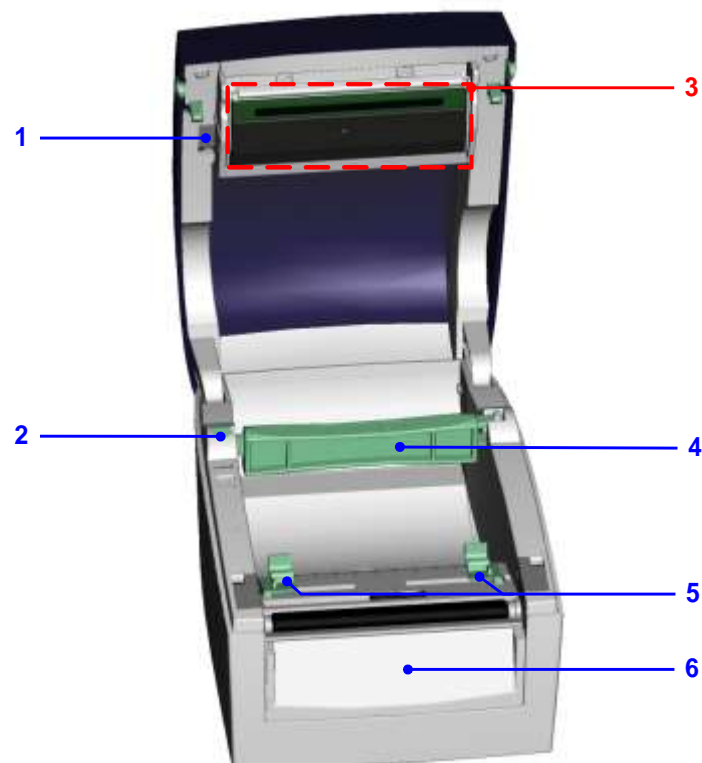
Internal Interface

| UART1 wafer | | Ethernet module |
|-------------|----|-----------------|
| N.C | 1 | N.C |
| TXD | 2 | RXD |
| RXD | 3 | TXD |
| CTS | 4 | RTS |
| GND | 5 | GND |
| RTS | 6 | CTS |
| E_MD | 7 | E_MD |
| RTS | 8 | CTS |
| E_RST | 9 | E_RST |
| +5V | 10 | +5V |
| GND | 11 | GND |
| +5V | 12 | +5V |

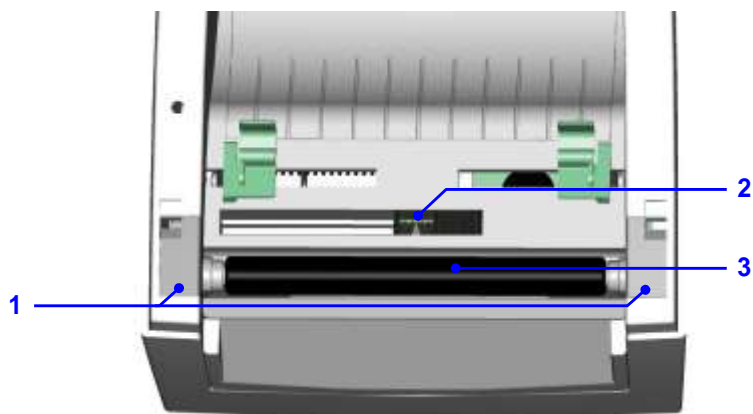
1-4. プリンタ各部の名称



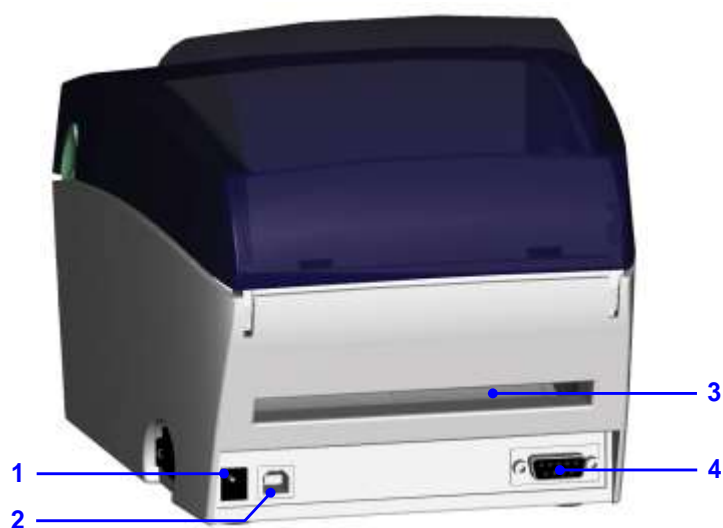
| | |
|----|-----------|
| 1. | LED ランプ |
| 2. | FEED キー |
| 3. | トップカバー |
| 4. | 電源スイッチ |
| 5. | トップカバーボタン |



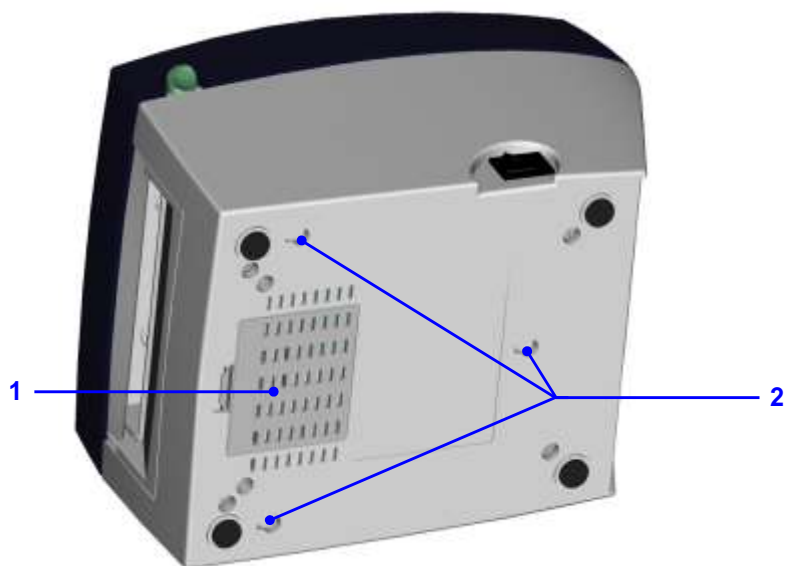
| | |
|----|------------|
| 1. | サーマルヘッドリフト |
| 2. | ラベルホルダ |
| 3. | ヘッドユニット |
| 4. | ラベル軸 |
| 5. | ラベルガイド |
| 6. | フロントカバー |



| | |
|----|----------|
| 1. | プラテンカバー |
| 2. | ラベルセンサー |
| 3. | プラテンローラー |



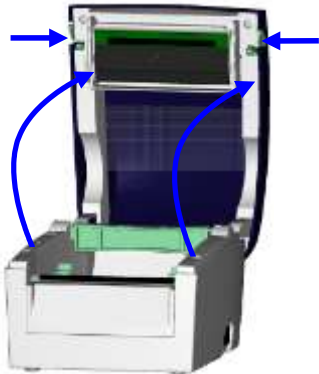
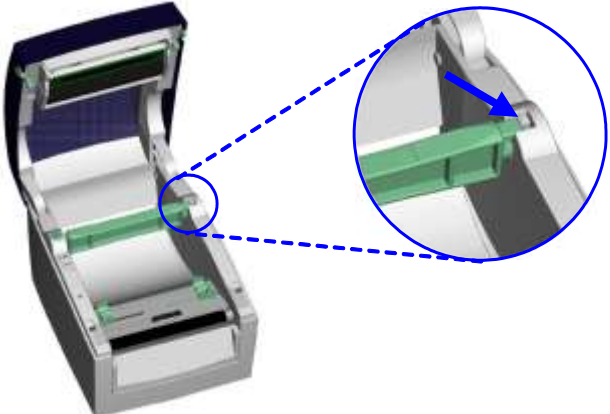
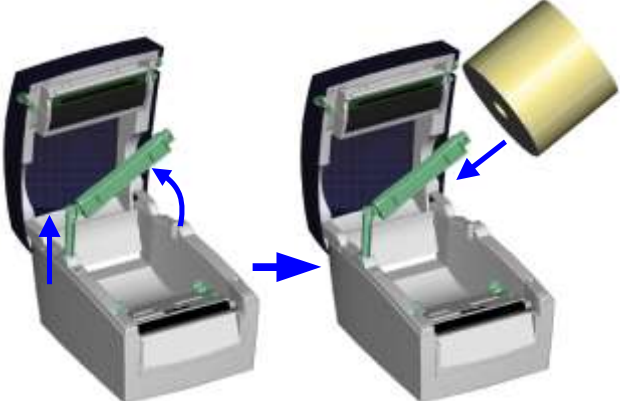
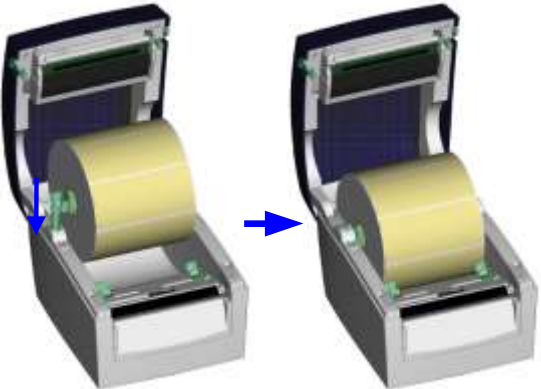
| | |
|----|-------------|
| 1. | 電源ソケットインレット |
| 2. | USBポート |
| 3. | 用紙挿入口 |
| 4. | シリアルポート |



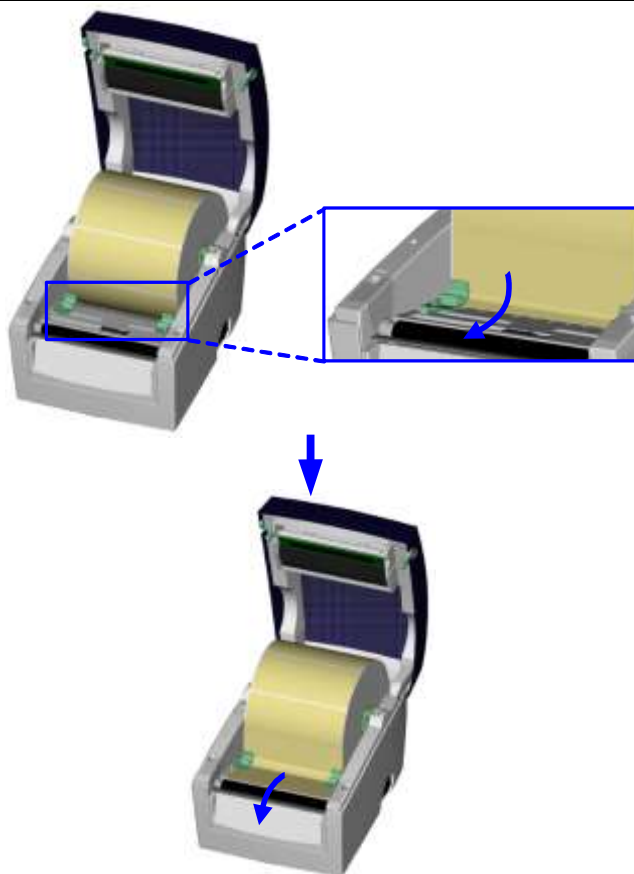
| | |
|----|-----------|
| 1. | メンテナンスカバー |
| 2. | 壁掛け用ホール |

2. プリンタの設定

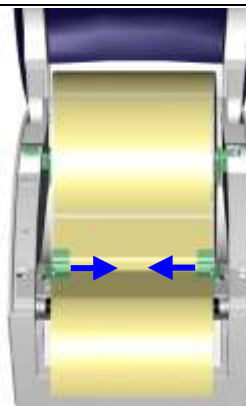
2-1. ラベル装着方法

| | |
|--|--|
| <p>1. プリンタの正面向かい左右のトップカバーボタンを押し、トップカバーを開きます。</p> |  |
| <p>2. ラベルホルダーを押し上方向に取り出します。</p> |  |
| <p>3. ラベルホルダーを持ち上げ、ラベルホルダー軸を上に跳ね上げます。</p> <p>4. 新しいラベルをラベルホルダー軸に装着します。</p> |  |
| <p>5. ラベル装着し下に下ろします。</p> <p>6. 元の場所にラベルホルダーを戻し固定します。</p> |  |

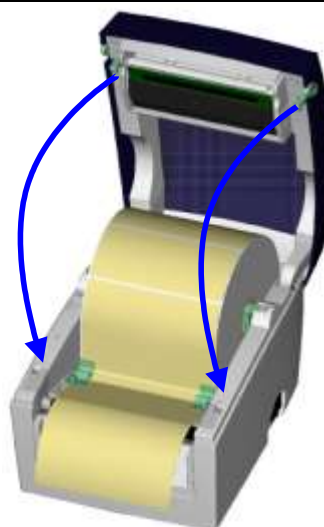
7. ラベルガイドの下にラベルを通し正面に引っ張ります。



8. ラベルガイドをラベルの幅に合わせてください。



9. トップカバーを閉じてください。これでラベルのセットは完了です。

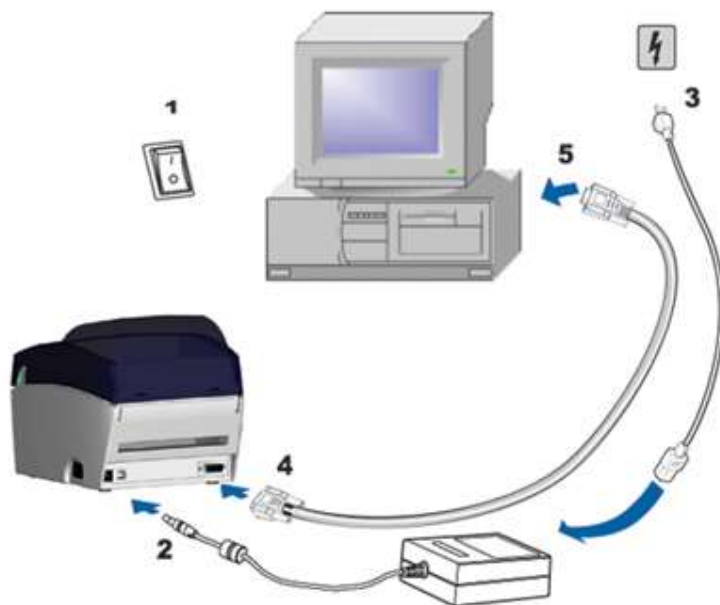


2-2. ラベルホルダーの使用法

| | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ラベルホルダー軸を引っ張りそしてラベルホルダーを上を持ち上げます。 2. 図で示されている通り、ラベルホルダーを外に向かって上げます。 3. ラベルホルダーをぐるりと回し元の位置に戻してください。 | |
| <p>A. ラベルホルダー軸が上部にある時は1インチ芯（コア）に適応します。</p> <p>B. ラベルホルダー芯のロック穴が下部にある時は1.5インチ芯（コア）に適応します。</p> <p>【注意】 ラベルホルダ軸上に明記された数字により確認する事が出来ます。</p> | <p style="text-align: center;">1" Core</p> |
| | <p style="text-align: center;">1.5" Core</p> |

2-3. コンピューターとの接続

1. プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
2. ACアダプタのコネクタをプリンタ本体の電源インレットに差し込みます。
3. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。
4. プリンタ背面のインターフェイスコネクタへ通信ケーブルを差し込みます。
5. 通信ケーブルのもう一方をコンピューターのインターフェイスコネクタへ差し込みます。
6. 電源を ON にすると、LED が点灯し接続は完了です。



2-4. プリンタドライバーのインストール

CD-ROMをドライブにセットしマイコンピュータなどからCD-ROMを参照します。

*インストールは必ず管理者権限でインストールを行ってください。

BP4x USBポートで使用する場合は例

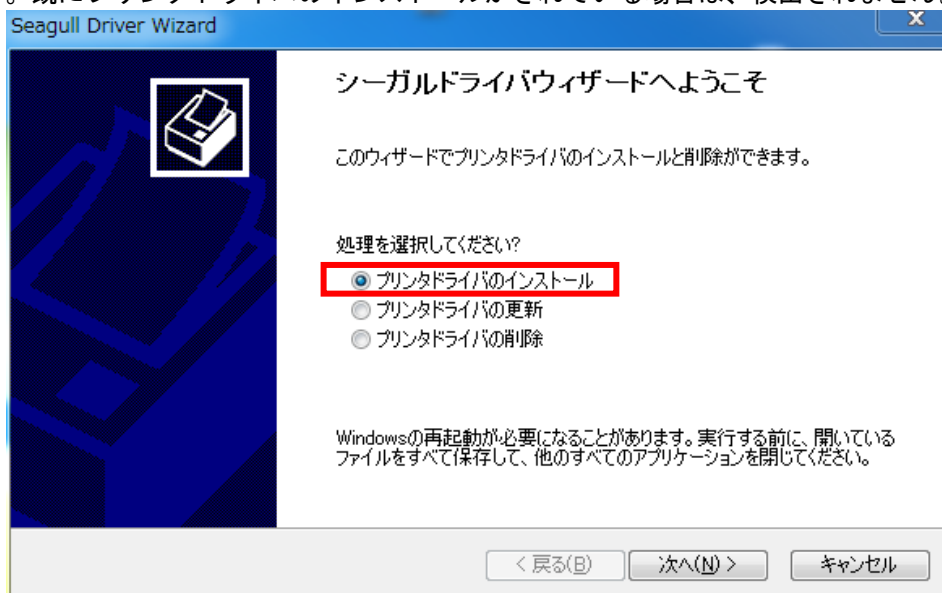
1.



CDROM内の“PrinterDrivers”フォルダ内の“BPPrinterDriver”フォルダを開き、“DriverWizard.exe”を実行します。

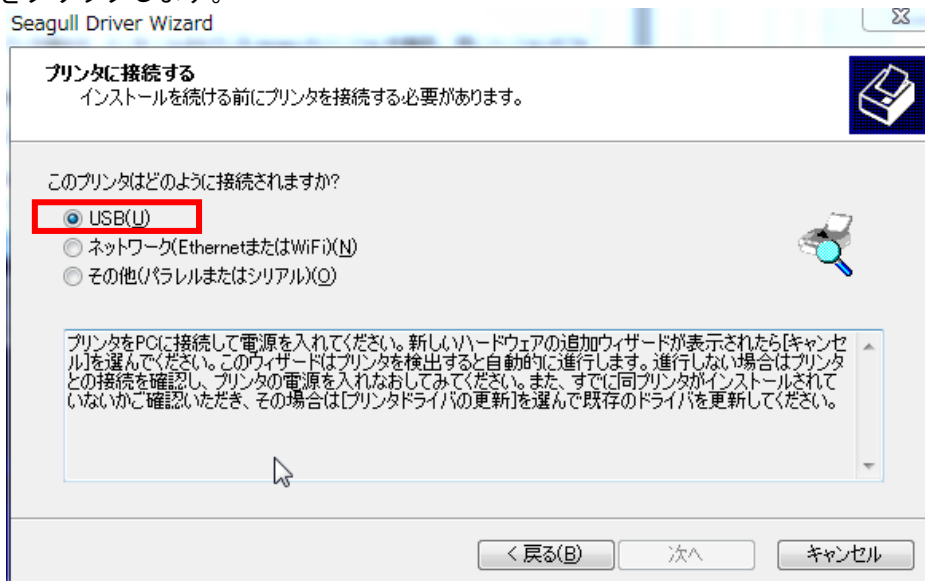
2.

プリンタとパソコンをUSBケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。プラグアンドプレイで新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されたら[キャンセル]を選んでください。自動的に検出されない場合は、プリンタの電源を入れ直してください。既にプリンタドライバのインストールがされている場合は、検出されません。



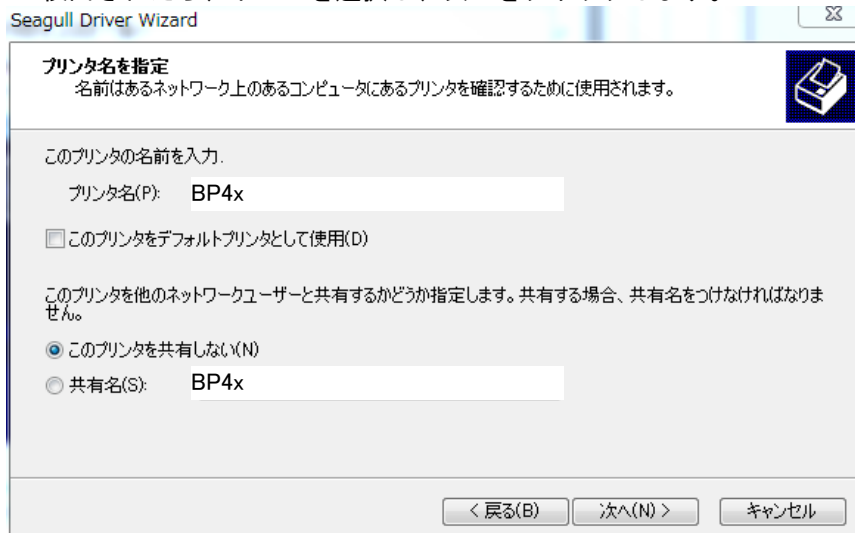
「プリンタドライバのインストール」を選択し、次へをクリックします。

3.



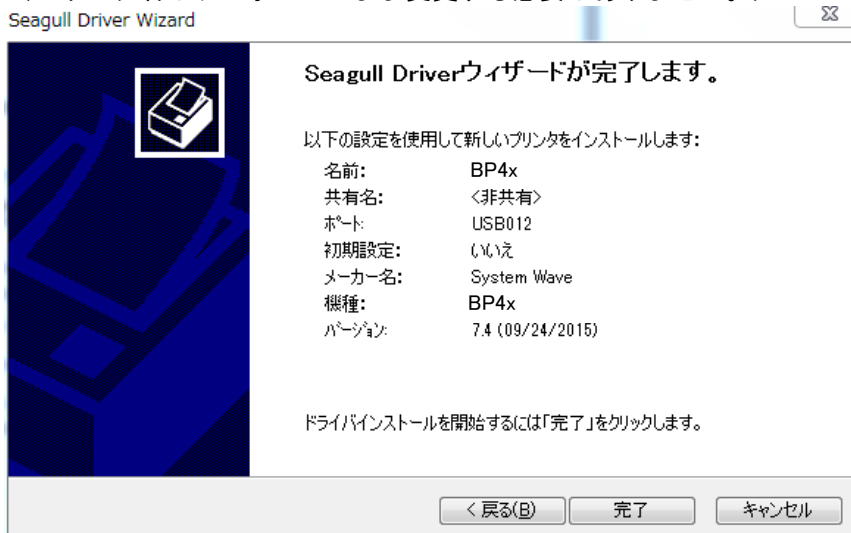
プリンタが検出されたら、ポートを選択し、次へをクリックします。

4.



The screenshot shows the 'Seagull Driver Wizard' dialog box with the title 'プリンタ名を指定' (Specify Printer Name). Below the title, it says '名前はあるネットワーク上のあるコンピュータにあるプリンタを確認するために使用されます。' (Used to check for a printer on a network with a name). There is a printer icon in the top right. The main area contains the instruction 'このプリンタの名前を入力。' (Enter the name of this printer). Below that, 'プリンタ名(P): BP4x' is shown in a text field. There is a checkbox 'このプリンタをデフォルトプリンタとして使用(D)' (Use this printer as the default printer) which is unchecked. Below that, it says 'このプリンタを他のネットワークユーザーと共有するかどうか指定します。共有する場合、共有名をつけなければなりません。' (Specify whether to share this printer with other network users. If sharing, you must specify a share name). There are two radio buttons: 'このプリンタを共有しない(N)' (Do not share this printer) which is selected, and '共有名(S): BP4x' (Share name) which is in a text field. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

プリンタ名は「BP4x」にして次へをクリックしてください。
(プリンタ名はデフォルトのまま変更する必要はありません。)

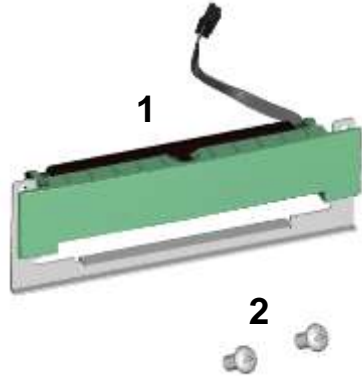
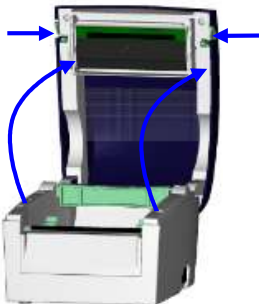
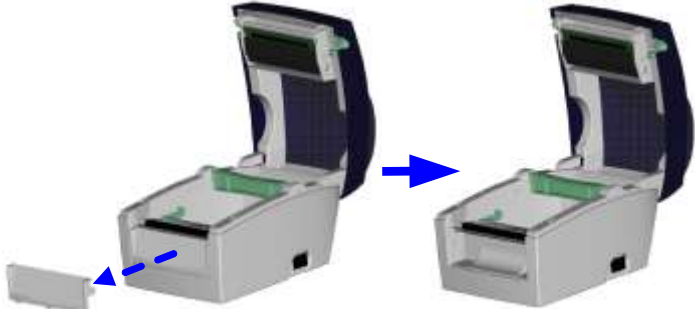


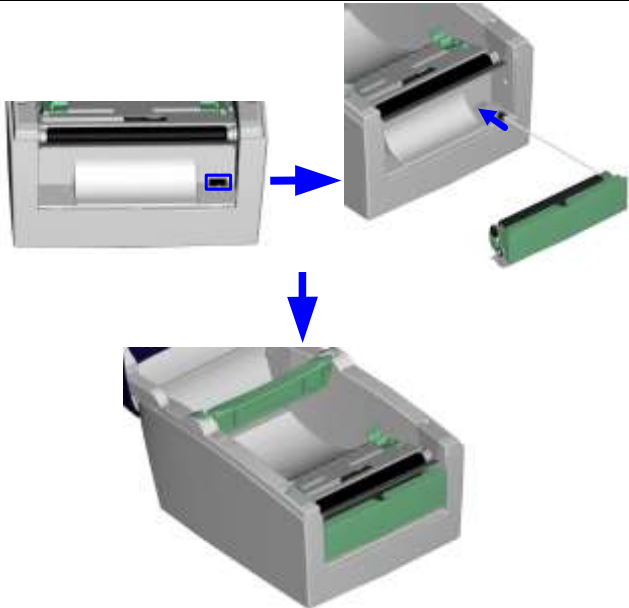
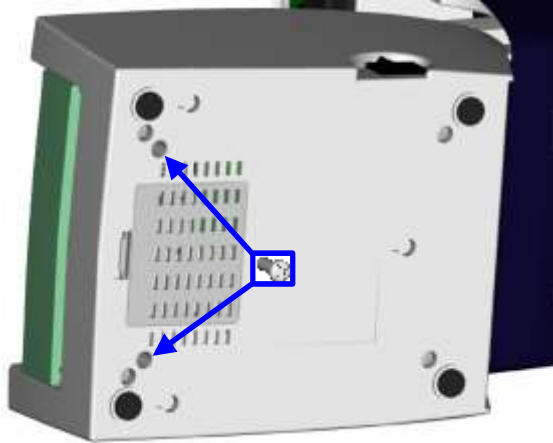
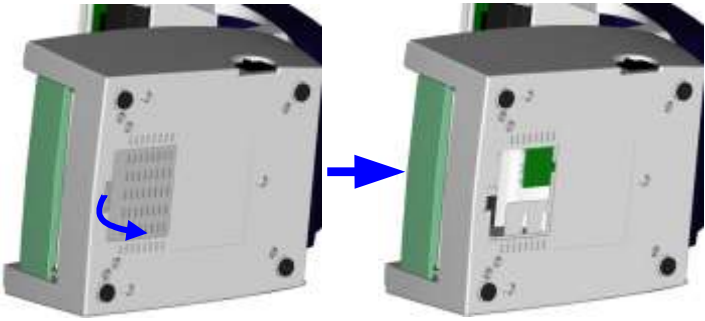
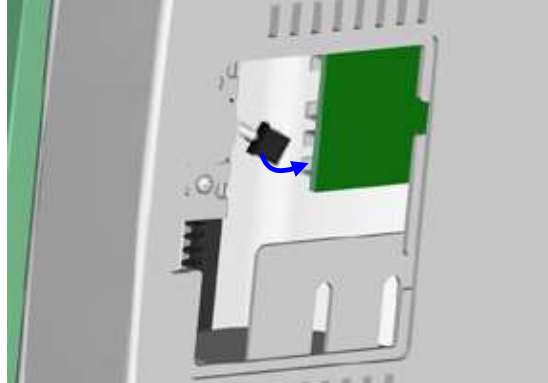
The screenshot shows the 'Seagull Driver Wizard' dialog box with the title 'Seagull Driverウィザードが完了します。' (Seagull Driver Wizard is complete). On the left, there is a printer icon and a blue abstract graphic. The main area says '以下の設定を使用して新しいプリンタをインストールします:' (Install the new printer using the following settings:). Below this is a list of settings: '名前: BP4x', '共有名: <非共有>' (Share name: <non-sharing>), 'ポート: USB012', '初期設定: いいえ' (Initial settings: No), 'メーカー名: System Wave', '機種: BP4x', and 'バージョン: 7.4 (09/24/2015)'. Below the list, it says 'ドライバインストールを開始するには「完了」をクリックします。' (Click 'Complete' to start driver installation). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '完了' (Complete), and 'キャンセル' (Cancel).


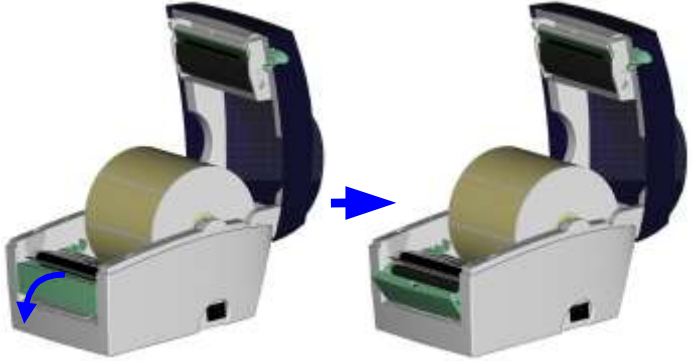
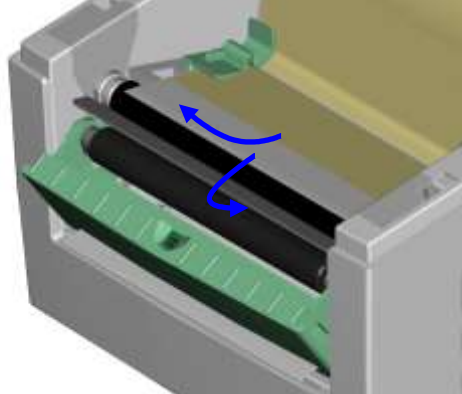
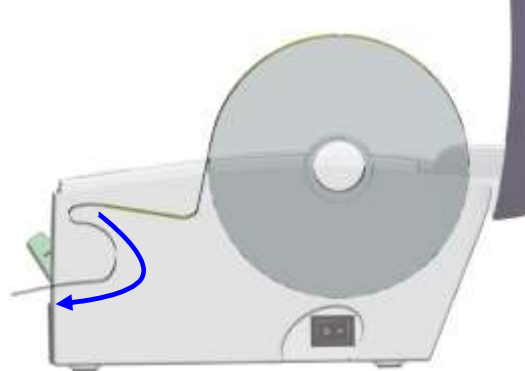
完了をクリックしてください。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。

3. オプション

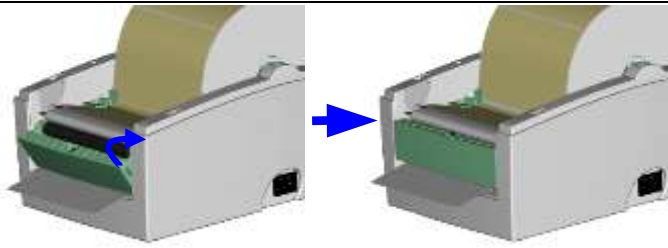
3-1. ピラーユニットの取り付け方法

| | | |
|--|---------|---|
| 1 | ピラーユニット |  |
| 2 | ネジ x 2個 | |
| <p>【注意1】 取り付けるときは電源をオフにしてください。</p> <p>【注意2】 ラベル台紙の厚さは0.06mm± 10% 重量は65g/m² ± 6%です。</p> <p>【注意3】 ラベルの最大幅は110mmです</p> <p>【提案】 Label Plusを使う場合のラベル停止位置は9mmに設定してください。</p> | | <p>1. プリンタの正面に向かってプリンタの左右のトップカバーボタンを押してトップカバーを開きます。</p>  |
| <p>2. フロントカバーを外して下さい。</p> <p>【注意】 フロントカバーを外すにはドライバー等を使ってください。</p> | |  |

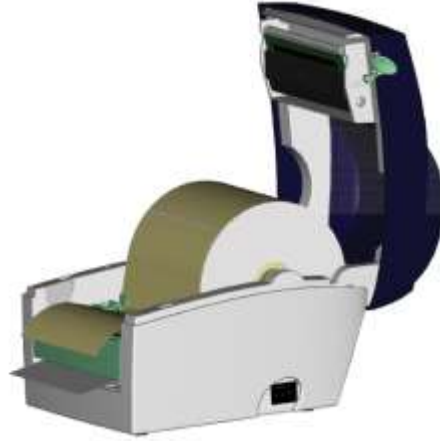
| | |
|---|--|
| <p>3. 図のようにピラーのコンネクターを差し込みます。</p> <p>4. ピラーをセットしてください。</p> |  |
| <p>5. 裏面に返し。ピラーとネジで固定してください。</p> |  |
| <p>6. プリンタのメインボードが見えるようにメンテナンスカバーを外してください。</p> <p>【注意】 ドライバー等で下部のケースをあける事が出来ます。</p> |  |
| <p>7. プラグをメインボードに差し込みます。</p> <p>【注意】 メインボードには2つのソケットがあります。1つはピラー用でもう一つはカッター用です。差し込む前に十分注意してください。</p> |  |

| | |
|---|--|
| <p>8. メンテナンスカバーをロックしてください。</p> <p>9. プリンタを元に戻しラベルをセットします。</p> |  |
| <p>10. ピラーを下に開きます。</p> <p>11. 2-1 を参考にしてその手順でラベルのセットを行ってください。</p> |  |
| <p>12. 1 枚目のラベルを剥がし、台紙をローラーとの剥がし板の間を通して引っ張ります。</p> |  |
| <p>13. 図のように台紙をピラーの中を通してください。</p> |  |

14. ピラーを押しプリンタに固定してください。


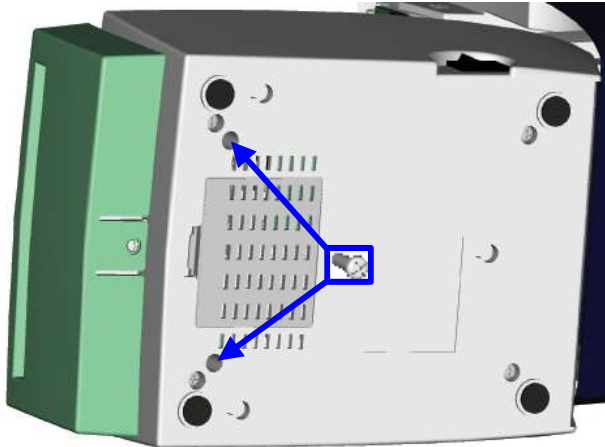
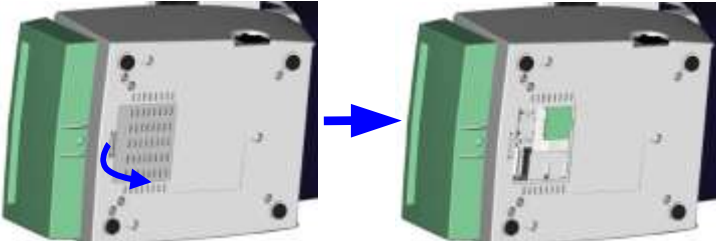
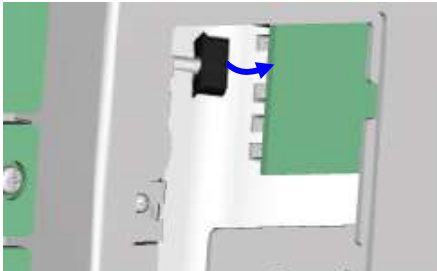


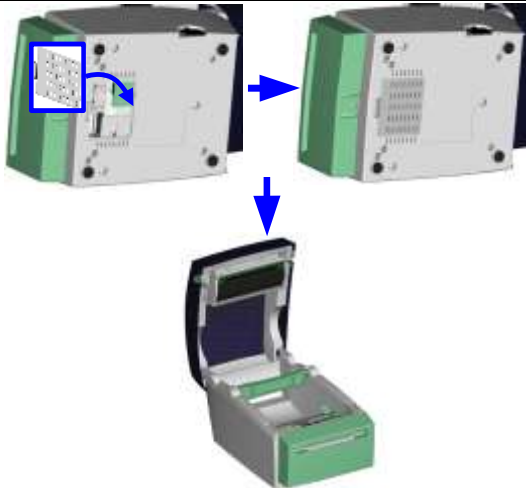


15. FEED キーを押して1枚ラベルを出します。所定の位置にラベルが停止することを確認してください。これで設定は完了です。



3-2. カッターユニットの取り付け方法

| | | |
|---|---|--|
| 1 | カッターユニット |  |
| 2 | ネジ x 2個 | |
| <p>【注意1】 取り付けるときは電源をオフにしてください。</p> <p>【注意2】 カッターは糊が付いている部分を直接切断しないようにしてください。糊の付着により故障の大きな原因となります。</p> | | |
| <p>【注意3】 カット可能な最大ラベル幅は114mmです</p> <p>【提案】 Label Plusを使うときはラベル停止位置を30mmに設定してください。</p> | | |
| 1. | <p>プリンタの正面に向かってプリンタの左右のトップカバーボタンを押しトップカバーを開きます。</p> |  |
| 2. | <p>フロントカバーを外してください。</p> |  |

| | |
|---|--|
| <p>3. 図のようにカッターのケーブルを穴の中に差し込みます。</p> <p>4. カッターをプリンタにセットしてください。</p> |  |
| <p>5. 裏面に返し、カッターを所定の位置にネジで固定します。</p> |  |
| <p>6. メインボードが見えるようにメンテナンスカバーをプリンタから外します。</p> |  |
| <p>7. プラグをメインボードに差し込みます。</p> <p>【注意】 メインボードに差し込む前に位置を確認してください。</p> |  |


| | |
|--|--|
| <p>8. メンテナンスカバーを元に戻しロックします。</p> <p>9. プリンタを元に戻し、ラベルのセットを行います。</p> |  |
| <p>10. ラベルのセットは目次 2-1 のラベルのセット方法を参考にしてください。</p> |  |
| <p>11. ラベルをカッターに通します。そして FEED キーを押します。1 枚カットされてラベルが出てきます。これでカッターのセットは完了です。</p> |  |

4. LEDの点灯表示

4-1. LED の説明


<KSW-DT2/DT4 ファームウェアVer.2.XXXX以下の場合>

プリンタにラベルをセットした状態で電源がOFFにします。FEEDキーは押したまま電源を投入します。ビープ音が3回鳴り自動テストに入ります。更にFEEDキーを押し続けているとラベル自動チェック、ダンプ、透過センサーON/OFFモードに切り替わります。そして自動テストに戻ります。

| LED 点灯 | 音 | 状態 | 確認 | |
|---|---|---------------|---|----|
|  | 緑 | 1 | オンライン | 正常 |
| FEEDキーを押したままで電源をONにしてください。 | | | | |
| ↓ | | | | |
| 赤 (点滅) | 3 | 自動テスト | プリンタが自動テストモードの印字を行っていることを示します。操作方法は29ページを参照願います。 | |
| ↓ | | | | |
| オレンジ (点滅) | 1 | ラベル自動チェックモード | プリンタが自動的にラベルのチェックを行っていることを示します。操作方法は30ページを参照願います。 | |
| ↓ | | | | |
| 緑 (点滅) | 1 | ダンプモード | プリンタがダンプモードを行っている事を示します。 | |
| ↓ | | | | |
| オレンジ | 1 | 透過センサー ON/OFF | 透過センサーのON/OFFの設定です。操作方法は31ページを参照願います。 | |
| ↓ | | | | |
| 自動テストに戻ります。 | | | | |
| ↓ | | | | |
| 赤 (点滅) | | | プリンタがファームウェアのダウンロードを行っている事を示します。 | |

<KSW-DT2/DT4(ファームウェアVer.G3.XXXX以下)又はKSW-BP2x/BP4xの場合>

プリンタにラベルをセットした状態で電源がOFFにします。FEEDキーは押したまま電源を投入します。ビープ音が2回鳴りラベル自動チェックモード及び自動テストに入ります。更にFEEDキーを8秒から10秒間押し続けていると自動テスト、ラベル自動チェック、ダンプ、透過センサーON/OFFモードに切り替わります。そして自動テストに戻ります。

|  | LED 点灯 | 音 | 状態 | 確認 |
|---|--------|---|--------------------|--|
| | 緑 | 1 | | オンライン |
| FEEDキーを押したままで電源をONにしてください。 ↓ | | | | |
| 赤 (点滅) | 2 | | ラベル自動チェックモード+自動テスト | プリンタが自動テストモードの印字を行っていることを示します。プリンタが自動テストモードの印字を行っていることを示します。操作方法は29ページを参照願います。 |
| 更にFEEDキーを8秒から10秒間押し続けたままにしてください。 ↓ | | | | |
| 赤 (点滅) | 3 | | 自動テスト | プリンタが自動テストモードの印字を行っていることを示します。操作方法は29ページを参照願います。 |
| ↓ | | | | |
| オレンジ (点滅) | 1 | | ラベル自動チェックモード | プリンタが自動的にラベルのチェックを行っていることを示します。操作方法は30ページを参照願います。 |
| ↓ | | | | |
| 緑 (点滅) | 1 | | ダンプモード | プリンタがダンプモードを行っている事を示します。 |
| ↓ | | | | |
| オレンジ | 1 | | 透過センサー ON/OFF | 透過センサーのON/OFFの設定です。操作方法は31ページを参照願います。 |
| ↓ | | | | |
| 自動テストに戻ります。 | | | | |
| 赤 (点滅) | | | | プリンタがファームウェアのダウンロードを行っている事を示します。 |

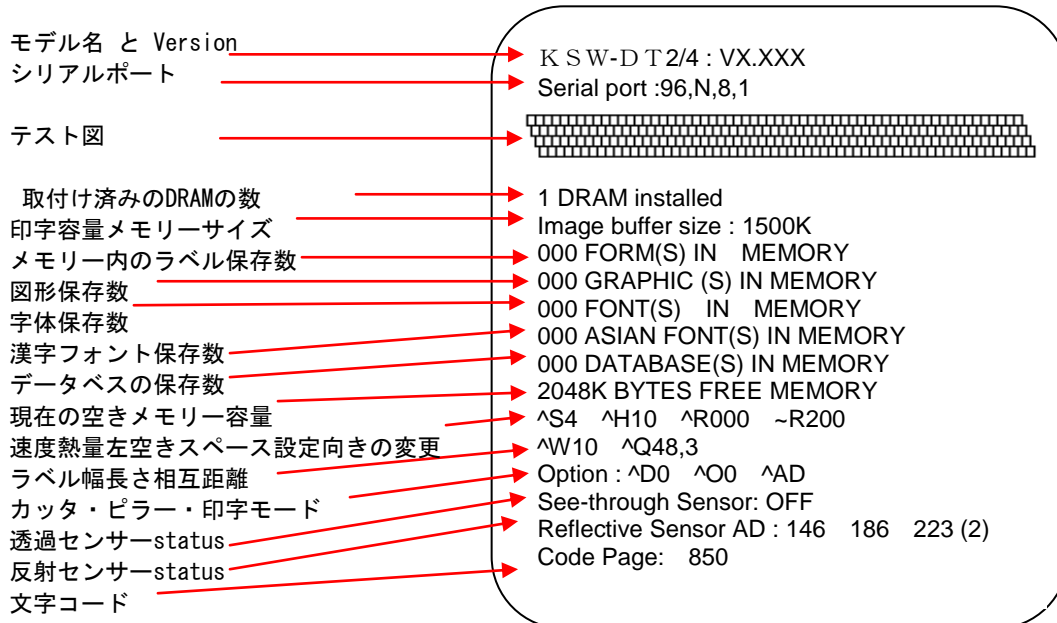
4-2. FEED キー

FEEDキーを押した後、使用している用紙サイズに合わせて用紙を指定の位置に送ります。「連続紙」を使用している場合、FEEDキーを1回押すと一定の長さの用紙を送ります。「ラベル」を使用している場合、FEEDキーを1回押すと1シートのラベルを送ります。ラベルを使用していて、正確な位置取りが出来ない場合は、26ページの説明に従ってラベル自動チェックを行ってください。

4-3. 自動テスト

プリンタの自動テスト機能はプリンタの故障の有無をチェックする機能です。自動テストモードではプリンタがテスト結果を下記のように印字し、「オンライン」に戻ります。
 以下は自動テストの手順です。

1. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
2. FEED キーを押しながら電源を投入します。
 ビープ音が 3 回鳴り、LED が赤点滅したら FEED キーを離してください。
 *ファームウェアのバージョンが G3.000 以降又は KSW-BP2x/BP4x は、ラベル自動チェックモード後に自動テストを行いません。
3. 1 秒後プリンタが自動的に以下の内容を印字します。
 これはプリンタが正常に作動していることを示します。



自動テストのラベルは現在のプリンタ内部の設定データを含みます。

4-4. ラベル自動チェック

自動的に用紙長を感知することができて、それを記録することができます。この方法によって、ユーザーは用紙長をセットする必要はありません、そして、プリンターは紙の隙間の位置を正確に感知することができます。

1. 移動式センサーの位置とマークの位置が、正確な場所にあるかどうかを確認します。
2. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
3. FEED キーを押しながら電源を投入します。ビープ音が 3 回鳴り、LED が赤点滅します。そのまま FEED キーを押し続け、LED がオレンジの点滅になったら FEED キーを離してください。
*ファームウェアのバージョンが G3.000 以降は、最初の赤点滅で FEED キーを離し、ラベル自動チェックモードと自動テストを行ないます。
4. 自動的にラベルのサイズを測長します。

4-5. ダンプモード

ダンプモードを行なうことで、プリンタとコンピューターとの通信エラー等のチェックすることが出来ます。例えばプリンタが8つのコマンドを受信した場合、通常の印刷は行わず、8つのコマンド内容を印字することができ、コマンドが正常に伝達されているかを確認することが出来ます。以下はダンプモードのチェック手順です。

1. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
2. FEED キーを押しながら電源を投入します。
FEED キーを押し続け、LED が緑点滅したら FEED キーを離してください。
3. ラベルに「DUMP MODE BEGIN」と印字されます。これは既にプリンタがダンプモードに入っていることを示します。
4. プリンタにコマンドを送り、コマンドの内容をチェックしてください。

ダンプモードを終了する場合は、FEED キーを押します。ラベルに「OUT OF DUMP MODE」と印字され「オンライン」に戻ります。

4-6. 透過センサー on/off

プリンタには透過／反射型の2種類のセンサーを搭載しております。2つのセンサーのうち1つを切り替えて使用します。初期設定では反射センサーが「ON」そして透過センサーが「OFF」に設定されております。反射センサーで正しく動かない時は透過センサーに切り替えてください。

透過センサーをオンにするには次の手順で行ってください。

1. プリンタにラベルをセットし、電源を OFF にします。
2. FEED キーを押しながら電源を投入します。
FEED キーを押し続け、LED がオレンジに点灯したら FEED キーを離してください。
3. プリンタが“SEE-THROUGH SENSOR IS ON”.と印字し、透過センサーモードに入っていることを示します。（この時、反射センサーはオフになります。）
4. 透過センサーをオフにするには、上記の方法を繰り返してください。

SEE-THROUGH SENSOR IS ON

or

SEE-THROUGH SENSOR IS OFF

透過センサーが「オン」か「オフ」を確認するには、ラベル用紙自動チェックモードを一度行ってください。LEDが緑色に点灯すれば透過センサーが「オン」になっています。もしLEDがオレンジ色であれば透過センサーは「オフ」になっています。

【注意】

透過センサーに切り替わっている時はムーブセンサーをプリンタの中央にセットしてください

4-7. 操作エラーの表示

| LEDランプ | 音 | 説明 | 解決方法 |
|-----------|--------|--|---|
| 赤 | 連続2回4音 | ヘッドが閉じていないか閉じ方が不完全です | 再度ヘッドを開き、閉めなおします。 |
| 赤 (点滅) | 無し | サーマルヘッドの温度が非常に高い | プリンタは自動的に印字を中止します。ヘッドの温度が下がった後、運転状態にも戻ります。 |
| 赤 | 連続2回2音 | ラベルを認識していない | 移動センサーとマークが正しい計測位置にあるかの確認、それでもラベルを認識しない場合はラベル自動チェックを行う。 |
| | | ラベルが無い | ラベルを補填してください。 |
| 赤 | 連続2回2音 | ラベルの送りが正常でない | 原因としては:紙詰り/ラベルのGapが認識されて無い/黒線の入ったラベルが無い。実際の状況に合わせて対処してください。 |
| 赤 | 連続2回2音 | メモリがFULL; プリンタが“Memory full.”と印字します | メモリ内の不必要なデータを削除してください。 |
| 赤 | 連続2回2音 | ファイルが見つからない; プリンタが“Filename can not be found.”と印字します | “~X4” 命令を実行し全てのファイルを印字して、プリンタの名称が正しいかどうかの確認してください。 |
| 赤 | 連続2回2音 | ファイル名が重複; “Filename is repeated.”と印字します | ファイル名を変え、再度ダウンロードを実行してください。 |

4-5. IPアドレスの設定 (KSW-BP2x/BP4x)

初期設定ではDHCPが有効に設定されており、ネットワーク上にプリンタを接続するとIPアドレスは自動的に取得されます。

現在設定されているIPアドレスの確認方法は、[自動テストモード](#)で設定内容をラベルに印刷し確認することができます。

IPアドレスの変更方法（ブラウザ）

| | |
|----|--|
| 1. |  <p>ブラウザのアドレスバーに自動テストモードで調べたIPアドレスを入力します。</p> |
| 2. | <p>ログイン画面が表示されます。</p>  |

アカウント名 : admin
 パスワード : 1111 (初期設定値)
 を入力しLoginボタンをクリックします。

3. 設定画面が表示されます。
 Configuration→TCP/IPの順番をクリックします。

IPアドレスを固定する場合は、StaticIPを選択し、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、「Submit」ボタンで確定します。

IPアドレス変更方法（プリンタコマンド）

プリンタドライバを経由してプリンタコマンドでIPアドレスを設定します。
 プリンタドライバをインストールし、通信が可能な事を確認してください。
 この方法はネットワーク上にプリンタが見つからない場合やブラウザで設定できない場合に有効です。

1. Windowsのメモ帳を開き、下記のコマンドを入力します。

■DHCP有効にする場合

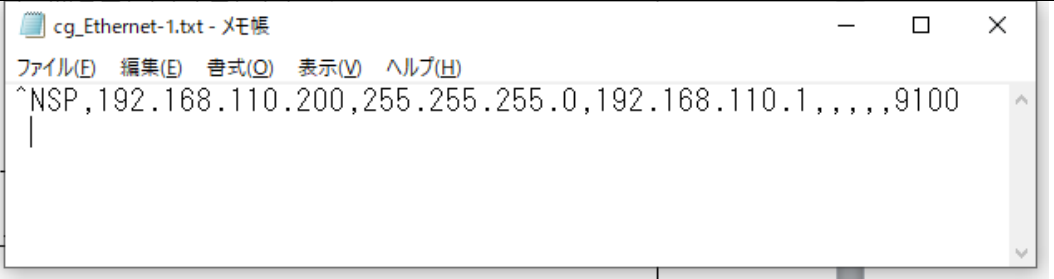
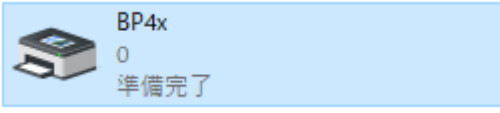
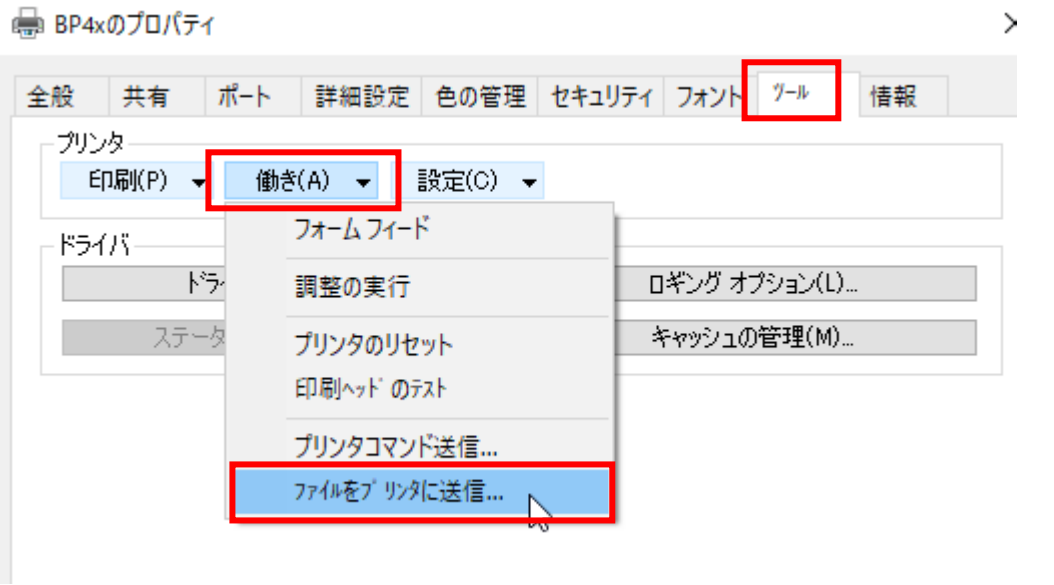
^NSD(改行)

■固定IPアドレスを設定する場合

^NSP, IPアドレス, サブネットマスク, デフォルトゲートウェイ, , ポート番号 (改行)

例 : IPアドレス=192.168.110.200/サブネットマスク=255.255.255.0/ゲートウェイ=192.168.110.1 に設定する場合

^NSP, 192.168.110.200, 255.255.255.0, 192.168.110.1, , 9100 (改行)

| | |
|----|--|
| |  <p>ファイル名を付けて任意の場所に保存します。</p> |
| 2. |  <p>プリンタドライバを右クリックしてプリンタのプロパティを開きます。</p> |
| 3. |  <p>ツール→働き(A)→ファイルをプリンタに送信を選択します。</p> |
| 4. | <p>1. で作成したテキストファイルを指定し、「開く」をクリックしてください。 プリンタへファイルが送信され、正しく受信するとビーブ音が1回なります。 ビーブ音が鳴らない場合は、ファイルを正しく送られていないか、テキストファイル内の コマンドに誤りがある可能性があります。</p> |
| 5. | <p>自動テストを実行し、IPアドレスが正しく変更できているか確認してください。</p> |

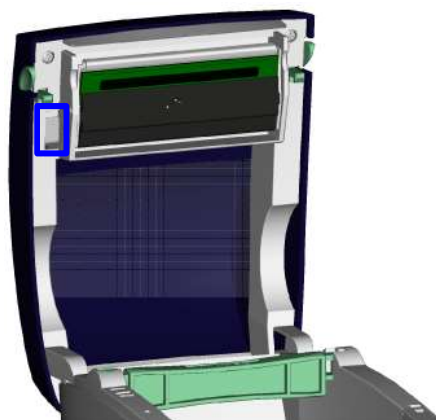
5. メンテナンスと調整

5-1. サーマルヘッドの交換方法

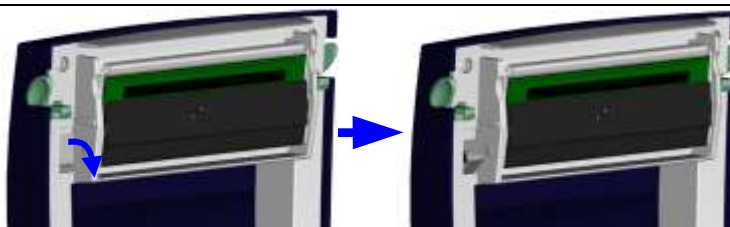
1. トップカバーを開き
トップカバーの左サ
イドのサーマルヘッ
ドリフトつまみを探
してください。

【注意】

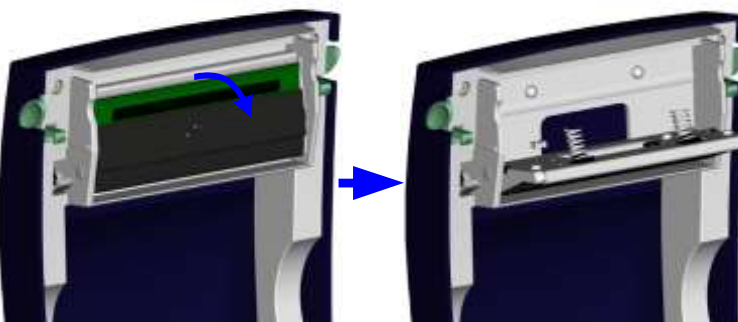
サーマルヘッドを外
す時と付ける時は電
源をオフにしてくだ
さい。



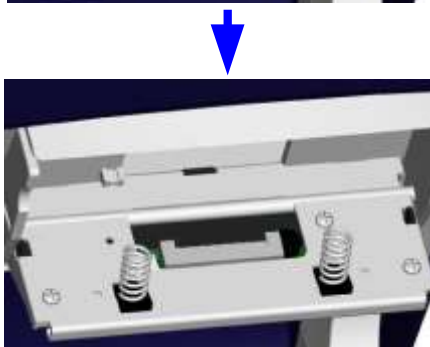
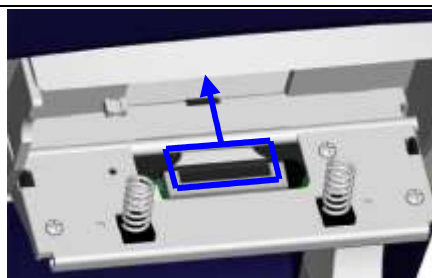
2. サーマルヘッドリフ
トつまみを押し下げ
てください。

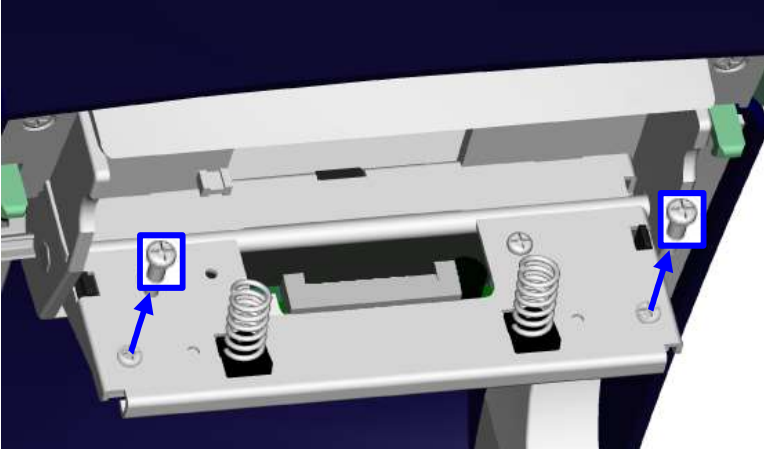
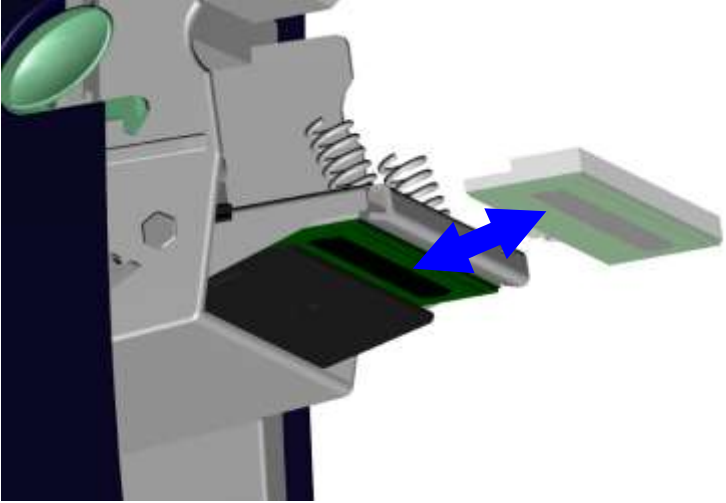


3. ヘッドケースは下に
下がります。



4. サーマルヘッドのコ
ネクターを外してく
ださい。



| | |
|--|---|
| <p>5. サーマルヘッドを固定しているネジを外してください。</p> |  |
| <p>6. サーマルヘッドのケースの下部からヘッドを外し新しいヘッドと交換してください。</p> <p>7. 新しいヘッドに交換した後は、ネジを締めコネクターを差し込みまして、サーマルヘッドリフトつまみを元の状態に戻してください。これでヘッドの交換は終了です。</p> |  |

5-2. サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドにホコリ、ラベルの糊、インクなどが付着することにより印字が不鮮明になり、一部分が印字されないなどの不具合が起こる可能性があります。常に汚れが付着していないラベルを使用してください。サーマルヘッドのクリーニングは以下の手順で行います。

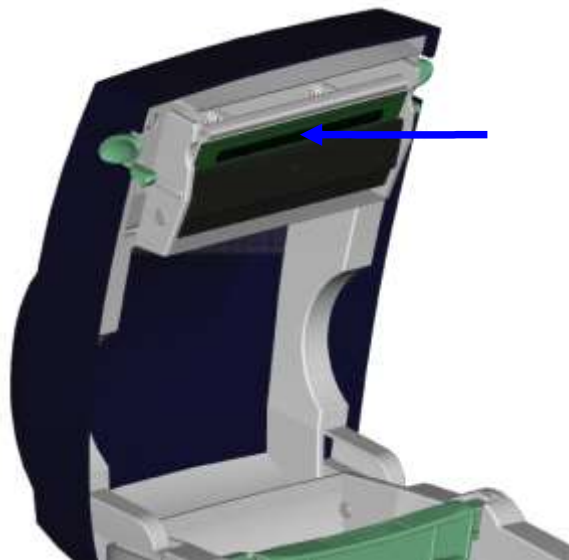
1. 電源をオフにします
2. トップカバーを開きます。
3. サーマルヘッド（図の矢印部分）に粘着性のラベル、糊又は他のゴミが付着している場合、クリーニングペーパー、エタノール筆、エタノールを付けた柔らかい布などで除去してください。

【注意 1】

サーマルヘッドは毎週クリーニングすることをお勧めします。

【注意 2】

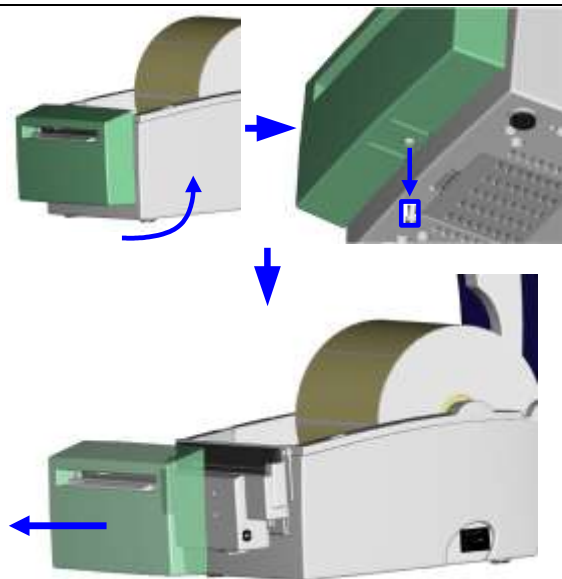
クリーニングする時は布に金属や硬い物質が付着していないかを確認してください。



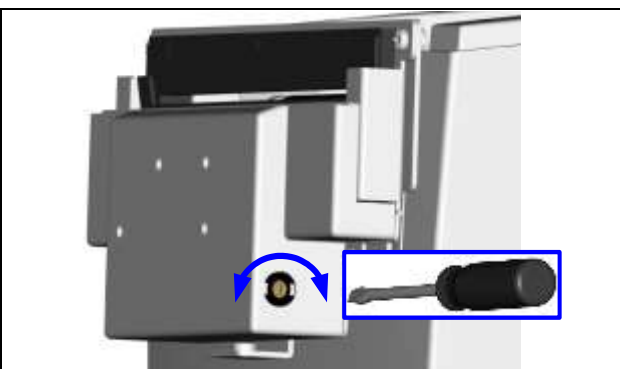
5-3. カッターの紙詰り除去

カッターを使用しますと、時々ラベル詰りが起こります。以下の方法でラベル詰りを解決できます。

1. プリンタを裏返しカッターカバーを固定しているネジを見つけます。
2. ネジを外しカッターカバーを取り外してください。



3. カッター調整ネジがカッターの右側にあります。カッターの刃が自由に動くようにドライバーを使って調整ネジを時計回りと反対方向に回し、詰ったラベルを除去してください。
4. ラベルを除去した後は、カッターを復活させるために、時計方向に調整ネジを回します。



5-4. トラブルシューティング

| 問題点 | 解決方法 |
|-----------------------------------|--|
| 電源をオンにしても LEDランプ が点灯しない。 | ◆ 電源コードがつながっているかを確認してください。 |
| プリンタが停止し、エラーランプが点灯しました。 | ◆ ソフトの設定を確認するか、プログラム命令にエラーが無いかを確認してください。 ◆ 正しい印字モードが選択されているかを確認してください。 ◆ ラベルがなくなっていないかの確認 ◆ ラベルが詰っていないかの確認 ◆ プリンタがきちんと閉まっているか（サーマルヘッドが正式な位置に固定されているか） ◆ センサーラベルが遮断されていないか ◆ カッターが正常でない動作をしていないか更に作動していないかの確認 |
| 印字を開始しても、ラベル上に何も印字されない。 | ◆ ラベルが裏返しになっていないか、又は適切なものか。 ◆ 正しいプリンタドライバーを選択してください。 ◆ 正しい材質のラベルを選択してください。 |
| 印字の時、ラベルが詰まります。 | ◆ 詰まっているラベルを除去し、ヘッドに糊が付着している場合、クリーニングペーパー、エタノールを付けた柔らかい布を使用し付着した糊を除去してください。 |
| 印字の時、ラベル上に部分的にしか印字されない。 | ◆ ラベルがヘッドに付着していないか ◆ ソフトにエラーが無いか ◆ 印字開始場所が正しいかを確認 ◆ 電源が供給されているかの確認 |
| 印字の時、ラベルのある部分が正確に印字されません | ◆ サーマルヘッドに糊が付いていないかの確認 ◆ 内蔵されている“~T”を使用しサーマルヘッドが正確に印字するかの確認 ◆ ラベルの品質が適切かの確認。 |
| 希望する場所に印字できません。 | ◆ センサーが紙に覆われていないかの確認。 ◆ ラベル台紙が適切でない場合があります。販売店に確認してください。 ◆ ラベルガイドが正確にラベルを固定しているかの確認。 |
| 印字にとき、次のラベルに跳んでしまう。 | ◆ ラベルの高さと間隔が正しいか ◆ センサーが紙に覆われてないか確認 |
| 印字が不鮮明 | ◆ 印字濃度の設定が適切かどうか ◆ サーマルヘッドに糊が付着していないか |
| カッター使用時、ラベルが正しくカットされない | ◆ ラベルが斜めに置かれてないかの確認 |
| カッター使用時ラベルがカットされない | ◆ ラベルの厚さが0.16mmを超えていないか |
| カッター使用時、ラベルが出てきません。また不規則にカットされます。 | ◆ カッターが適切にセットされているかの確認 ◆ カッターにラベルが詰まっていないかの確認 |
| ピラーが正しく動作しません | ◆ ピラーセンサーがホコリや紙に覆われていないか。ラベルが適切にセットされているか |

【注意】

以上の説明によっても問題が解決されない場合は、販売店又は代理店に相談ください